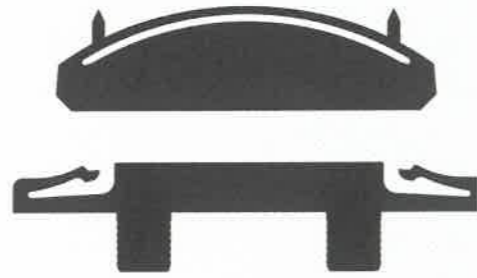


デバリオ P-18

スライドインクランプ方式、棚板・桁板スライド固定



デバリオ P-18



技術データ		
サイズ	ロックパーツ	65 x 16 x 9.7mm
	アンカーパーツ脚部	8φ x 9mm (間隔32mm)
使用カッターブレード		100.4φ x 7 x 22mm
金具材質		グラスファイバー樹脂
装着時の公差		長手方向±1mm/半径方向±0mm

出荷単位	品番
80組入り	145550
300組入り	145560
1000組入り	145570

ロックパーツ・インサート治具	125500
----------------	--------



T溝加工専用機ゼータP2によるデバリオP-18の装着部の加工と装着

(1) アンカーパーツの飛び出し部の逃げとなるスライド溝の加工
ゼータP2前部の横滑り防止パッドを外し^{※1}、切り込み深さダイヤルを0位置に、T溝深さ設定ダイヤルをOFF位置にし、フロントベースの矢印を高さ設定スケール上の棚板の厚さの半分のサイズに合わせます。

カッターブレードを一杯押し出して、左から右にスライドさせて加工します。そうすると、深さ8.5mmのスライド溝が加工できます。加工開始位置または加工終了位置はフロントベースの3つの印の外側の印を棚板の正面の木口に合わせた位置または3つの印の真ん中の印が棚板の後ろ側の木口に合わせた位置となります。

(2) ロックパーツを差し込むT溝加工とロックパーツの装着
ゼータP2前部の横滑り防止パッドを取り付け^{※1}、切り込み深さダイヤルをmaxの位置に、T溝深さ設定ダイヤルを18の位置にします。

棚板の正面及び後ろ側の木口にゼータP2の側面部を合わせて、カッターブレードを一杯押し出してT溝加工を行います。

インサート治具にデバリオのロックパーツを写真と図のように取り付けて、T溝に差し込みます。

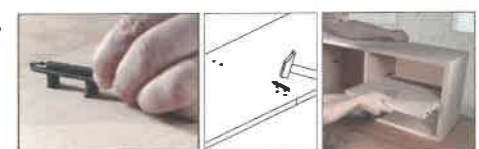
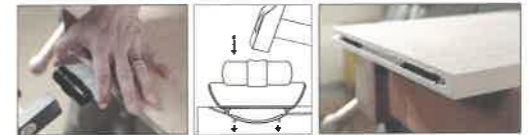
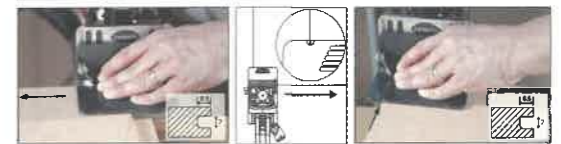
インサート治具の黒い部分を棚板の木口と平行になった位置で、写真と図のようにハンマーで、インサート治具を叩きます。そうすると、ロックパーツの内部の2本のピンが飛び出して、ロックパーツを固定することができます。この2本のピンはアンカーパーツによって押えつけられるので、抜けることはありません。

(3) アンカーパーツの装着部のドリル穴の加工
棚板が取り付け位置に桁板の両サイドにケガキ線を引きます。そのケガキ線の位置にドリル穴位置決め治具を当て、ハンマーで 2つのピンの黒色の頭を叩き、桁板に印をつけます。

ドリル穴位置決め治具に付属しているストッパー付き8mmφドリルで、印の付いた場所に深さ10mmの穴をあけます。

(4) アンカーパーツの装着と棚板をスライドさせての組立
アンカーパーツの2本の脚を穴に当てがい、ハンマーで叩き込んでください。デバリオの装着が終わりましたら、棚板を固定された桁板の間にスライドさせロックしてください。

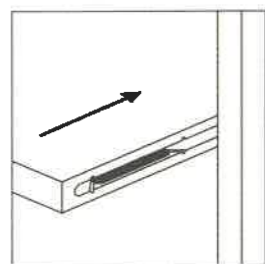
注：※1 横滑り防止パッドを取り外したり、取り付けたりせず、横滑り防止パッドの上にセロハンテープを貼り、ゼータP2の横へのスライドをスムーズにすることができれば、パッドをそのままにしておいてかまいません。



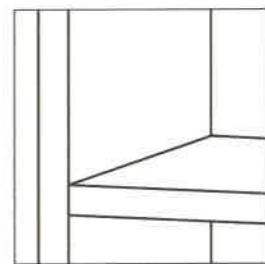
特徴

- 組立金具が隠れます
組立金具や加工したスライド溝、金具装着部も完全に隠れ、部材の表面には何も残りません。
- 十分な接合強度
スライドさせるにつれ、金具同士が引っ張り合い、接合力が高まった時点で、ロックされます。
- 装着部の効率的な加工、T溝加工機ゼータP2またはCNC機による加工
- 短時間で済む現場組立、設置費用の低減、人員の削減
- 最小18mm厚の板材使用可能
- スムースなスライドで容易な組立

スライドさせて固定



組立金具が隠れる



十分な接合強度

